

たかねまちづくり協議会
会長 板垣 一弘 様

提出日 平成24年6月6日(水)
氏 名 海沼 順一
鈴木めぐみ
斎藤 厚子
岩沢 深雪

研 修 報 告 書

以下のとおり研修の報告をいたします。

1. 所 属 たかねまちづくり協議会開発交流部
2. 研 修 名 「郷土料理を味わう会」実行に向けた先進地視察
※さんぽくごっつお物語スローフードフェスタ in さんぽく
2012 夏
3. 研修場所 村上市勝木「ゆり花会館」
4. 研 修 日 平成24年6月3日(日)
5. 研修内容
 - (1) 会場設営
 - ①会場入り口看板
 - ②体験コーナーや特産品販売の様子
 - ③食事会場の設定
 - (2) 「若葉の膳」
 - ①メニュー、作り方
 - ②スタッフの人数、協力体制
 - ③事前準備と当日の役割分担
 - ④アンケート内容
 - (3) その他
※研修資料は別紙のとおり

6. 研修の感想

○初夏の爽やかな天候となった6月3日（日）旧山北町にあるゆり花会館で行われた「さんぽくごっつお物語スローフードフェスタ in さんぽく 2012 夏」を視察してきました。イベントのはじまりは、「奥の細道ひとり語り」でした。その昔、松尾芭蕉が通った旧出羽街道の旅の話を芭蕉が詠んだ句を織り交ぜ、当時の情景が思い浮かぶような語り口で聞かせていただきました。残念なことに、後半からは来場者が込み合い、声がよく聞き取れませんでした。マイクを使った方が良かったと思いました。

12時になり、食事会場で「若葉の膳」という田舎懐石をいただきました。メニューはデザートを含め9種類。どれも地元の食材（朴葉、ふき、あおさ、筍、茗荷筍など）を使用した素朴で懐かしい、山北のお母さん達の愛情と笑顔がたっぷり詰まったとても美味しい料理でした。

食事中に料理を作った方が各テーブルを回り、材料や作り方などを丁寧に話してくださいました。料理を提供するお母さんたちが笑顔で楽しく作ること。そして、食べてくれる方が美味しいと言って笑顔を返すこと。それが、このイベントを長く支えている所以だと感じました。

また、食事会場の設定の仕方（テーブルの配置・白布、銚子の一輪挿しなど…）や食器等（揃いでなくても陶器の方が美味しく感じる等）我々が今後参考にしなければならないことがたくさんありました。

今回、初めて、市内のイベントと呼ばれるものに参加しましたが、実際に見て、聴いて、味わったことを活かし、「郷土料理を味わう会」実行に向けて取り組んでいきたいと思います。（専門部内広報担当：鈴木めぐみ）

6月3日(日)開発交流部先進地視察レポート



☆11時6分

予定より随分早く会場に到着。「勝木は思ったより近いのねえ～」女性陣の声。いきなり!「看板か…。」「正吾さんに書いて貰えばいいねっか。」「高根区民会館に看板あるかしら?」「今度、たがねに下調べいがねばねなあ～」「はい。」メモメモ…。



☆玄関を入ると…、空きスペースを利用して、山北地区の特産品を販売。栃餅(5個で600円)、アケ笹巻(500円)、オークリッチ小麦パスタ(500円)、手作りみそ(700円)、ダイゴのフランスパン、みず、野菜などなど盛り沢山です。ついついつられて我々もお買い物ツアーしてしまいました。



☆「たかねまちづくり協議会から先進地視察にやってきました。」と受付でお話したら、何やら怪しげな!?おじさんがいろいろお話を聞かせてくれました。「やっぱり、恰好が大事よね～」「うちも海沼さんがこんな恰好したらインパクトあるんじゃない?」「そうそう。」



☆「奥の細道ひとり語り」なかなか興味深く聞かせていただきました。先ほどの怪しいおじさんは、大沢集落「石畳修復プロジェクト」の方でした。芭蕉が歩いた出羽街道を桜や新緑の時期に是非歩いてみたいと思わせる絶妙な語り口でした。



☆田舎懐石「若葉の膳」

《メニュー》

- ・焼き地魚の野菜サラダ
- ・もずく酢
- ・朝日豚味噌付け朴葉焼き
- ・特製ごま豆腐
- ・みずの漬け物 ・筍ごはん
- ・ふきの油炒め ・あおさ汁
- ・デザート(いちごムース)



☆今日の料理は、私の大好きなもののばかりでおいしくいただきました。まちづくりに関わってしまいすごく大変だと感じています。でも、たまにはこんな美味しい事もあるからいいかな～。などと言っている場合ではありません。会場の様子をメモメモ…。



☆会場内はこんな感じです。80席ほぼ満席でした。ほとんどが、団塊の世代以上の方で女性が多いかしら？でも、ちらほら家族連れやご夫婦も見えました。しかも小学生くらいのお子様もかないましたねえ。会場が広いのでスタッフの方もゆっくりと各テーブルをまわり話をされていました。



☆料理が美味しいのは、お母さんたちのこの笑顔。「頼まれてやっている。」のではなく、「美味しいからまんず食べてみてくれでば。」って感じがガンガン伝わってきました。どうやってお母さんたちを集めるか。お母さんたちの笑顔を引き出せるか。事業の成功はそこにあると思いました。お揃いのピンクのエフロンもいいな。